



以前、江川・柳瀬川で「親子で野遊び教室」を継続的に取り組んできましたが、ここ3年ほどはコロナ禍もあり安全性を考慮し停止をしていました。

NPO法人富士見市民大学の今期の活動として受講生年齢の広がりや地域の自然環境を観察、学習を進めることを目指しました。

当市の豊かな自然には多くの湧き水、清流があり、周辺の市民の努力で残されています。富士見市には蛍、ホトケドジョウなどの生きものが生息しています。

その貴重な環境を次世代に継承をしたいと願い、検温、消毒、三密回避、換気をしながらの実施になりました。



日 時	8月7日(土) 9:30~11:30
会 場	山室集会場
講 師	守山義一氏
スタッフ	伊藤智明氏 泉 北斗氏
受講生数	17名

講 義



スタッフ 伊藤智明氏

講師 守山義一氏

スタッフ 泉 北斗氏

1. 山室湧水路について

- ・下水路から湧水路への道

大規模開発ららぽーと建設により水路に生息している生き物への影響あり

「山室湧水路の清流保全プロジェクト」活動の説明と役割

2. ホトケドジョウの発見 2014年8月23日

(水害 2016年) 止水壁

以降 ホトケドジョウの観察を継続

公表 2018年 埼玉新聞の記事添付資料

ハグロトンボ、オニヤンマの観察…周辺地域市民の関心が高い。



事前説明



3. 屋外に出て湧水路に沿って川面を見学

道路からモンドリ網の回収

周辺の環境についての説明 山室緑地公園は武蔵野台地のキレで湧き水が流入

川面にオオカナダ藻が繁茂 ホトケドジョウ生息

集会所へ戻り 休憩



水路

水路観察

4. 事前に捕獲された生きものや先ほど持ち帰った生きものの比較検討

5. 生きもの調査

・モクズガニ（約15センチ位）が持ち帰りのケースから飛び出したので大騒ぎ
上海ガニの仲間

・ホトケドジョウ…まだ幼い個体も含め各テーブルごとに水槽で見学

絶滅危惧種 4月から185匹の生息を確認。市で最もきれいな川の証拠では。

その他8種類の魚類、資料として配布されたカラー下敷きにプリントされているので識別の参考になる。

網に多くかかった

旺盛な繁殖力で生息地域を広げる外来種のアメリカザリガニ 駆除対象

近年、河川改修工事の影響か回遊魚ヌマチチブが遡上 駆除対象

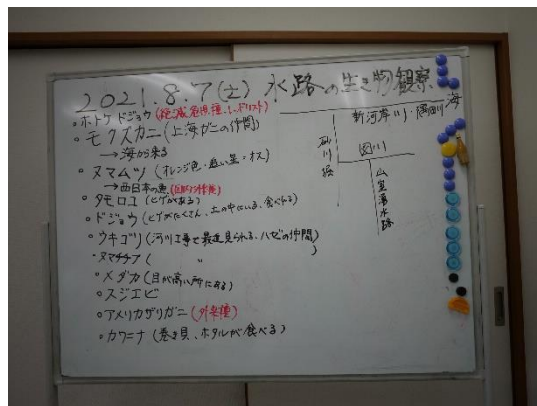
参加者から質疑はなかったが身近に多くの生き物が生息していること気象や環境の変化について実証的に学ぶ。

参加者は40代以下の親世代と4歳位から小学校3年生までの子どもで構成。
歓声を上げて川の見学、生きもの調査の説明には熱心に聞いていました。

次年度以降の環境講座または親子企画の参考になった。



生き物の解説





報告者 加藤久美子